

バプテスト 北九州地方連合ニュース

発行日:2021.10.17 | Vol.47 | 発行者:谷本 仰

新任牧師紹介 小倉春ヶ丘バプテスト教会 千葉仁志



主の御名を賛美いたします。この春に西南学院大学神学部選科課程を修了し、4月1日より、小倉春ヶ丘バプテスト教会に牧師として就任いたしました千葉仁志と申します。

小倉春ヶ丘バプテスト教会は、羊飼いがおらず、迷える子羊たちの群れでありました。4年間、牧師がいなかったのです。小倉春ヶ丘バプテスト教会は、私が神学部に入學する際の推薦教会であります。従って、本来ならば、私が就任するのは、あまりよろしくないと言われておりました。

あたかも、バプテスト連盟壮年会の奨学金を使って、教会が牧師を養成したかのような絵面になってしまうからです。もちろん、教会は、私を招聘するつもりで神学部を送り込んだのではありませんし、教会の状況が状況ですから、特別にお許しをいただきました。その牧師不在の4年間は、たくさんの先生方が、毎週代わる代わるメッセージをしてくださったおかげで、なんとか信徒たちだけでも礼拝を守ることができました。その間、時には、礼拝の出席者が、4人とか5人の時もありました。現在、教会員はわずか10名ほどです。そのような状況にもかかわらず、4月、5月、6月と、礼拝の出席者は平均すると20名ほどおります。なんと、教会員よりもノンクリスチャンの方が多いいということが起きております。教会員の方が全員出席しているわけではありませので、奉仕者が足りず、受付をした人が、献金のお祈りもして、一人で何役もするという具合です。奏樂者もおらず、CDの伴奏で讃美歌を歌っております。それでも、みな生き生きと、楽しそうに奉仕をし、礼拝を捧げております。

4年間全くしていなかった祈禱会も復活しました。出席者はいつも5人か6人ですが、最近新しい方も加わりました。礼拝前には、教会学校の成人クラスもしております。梅雨に入り、教会の庭は草がボウボウでしたが、ぜひ自分に手入れをさせていただきたいと奉仕者も与えられました。感謝です。このように、教会員の皆さまと助け合いながら、できるところから少しずつ体制を整えている途中です。6月に入り、教会のミッションステートメントを作ろうということになりました。ミッションとは何か、ミッションステートメントとは何かを皆で学びました。そして、ミッションステートメント製作委員会ができました。完成を急がず、できたものを一つずつ全員に確認してもらいながら、ゆっくり、じっくり取り組んでいきたいと思います。今は小さな群れですが、より大きな群れとなり、地方連合の皆さまと協力伝道をしていきたいと思います。



総務財務委員会「第二次 IT 整備財政支援」

10月中旬に第二次 IT 整備財政支援を行う予定となっております。第一次支援のときは、教会で協議が間に合わなかった教会も多数あるかと思えます。是非、第二次支援をご活用下さい。この支援は財政支援だけでなく、機材の使い方などの支援も含んでおります。礼拝配信のクオリティを上げたいとお考えの教会もご相談下さい。(本山大輔 総務財務委員)



連合新着情報「第二回協力伝道ミーティング」

11月21日(日)14時より第二回協力伝道ミーティングがシオン山教会にて開催されます。詳細は追ってお知らせしますが、大事なミーティングですので日程の確保をよろしくお願いいたします。

連合の最新情報は連合 HP からご確認ください。連合 HP は右の QR コード、または下記 URL からアクセス下さい。
<https://bap-kitaq.jimdofree.com>



これからの予定

- 10月14日(木)連合役員会 18時@シオン山教会
- 11月1日(月)BWA 世界祈禱日集会 10時半 @若松教会
- 11月21日(日)第二回協力伝道ミーティング 14時 @シオン山教会(オンライン配信あり)
- 11月30日(火)宣教支援センター運営委員会 14時 @シオン山教会



わたしたちに出来るだけのこと

白杵教会は、連合の「インターネットの整備財政支援・第一次募集」を申請・活用させていただき、9/19に宣教開始70周年・牧師就任式(以下、式典)をネット配信にて行うことができました。ここで、改めて感謝と恵みをご報告させていただきます。

本支援は、既にご存じの通り、ネット設備を拡充し、礼拝を配信するための財政支援であり、対象はネット礼拝を実施している全教会、もしくは今後それらを検討する全教会でした。

当教会は、支援申請前から既にパソコンの内蔵マイクとカメラを使って礼拝のネット配信を行ってまいりました。この方法は、費用も抑えられ、簡素で、比較的奉仕も容易という良さがありました。ただし、音声に関する課題として、音が全体的に曇っていた点、讃美歌のオルガンの音だけが途切れるという難点がありました。それらの音声課題改善の検討をしていたとき、連合の支援の知らせが届き、思いが実現可能となっていきました。

改善に向けた機材選定は、連合ホームページに公開中の「配信機材・礼拝 LIVE 配信マニュアル」を参考にしました。推奨されていたマイク、ミキサー兼オーディオインターフェイスの導入を決め、併せて外付け Web カメラも広角で十分な画素数のものを導入したいとの申請が承認され、導入は8月半ば頃となりました。

それは、式典の約1カ月前でした。さらに、厳しいコロナ危機の中、わたしたちは式典をネット配信で行うことを決断しました。不安もありましたが、思いは、決して背伸びせずいまの「わたしたちに出来るだけのこと」をやってみようとの思いでした。慣れるため、礼拝で少しずつ PC 操作の奉仕を分担し、リハーサルも2度行い、みなで備えました。講師や来賓の諸先生方にも、接続テストにご協力いただき、式典当日も大きなトラブルなく行うことができました。特別賛美のグローリー・リンガーズの皆さんには、演奏の事前録画をお願いし、Youtube 限定公開分を当日画面共有にて配信できました。当日の会堂の雰囲気は、いつもの礼拝の風景と大きくは変わらないものでした。しかし、会堂の奉仕者たちはもちろん、ネット経由でなされた宣教も、祝辞も、ハンドベルの賛美もどれもよく準備され、直接会えない分の気持ちも込められた素晴らしい内容でした。また、当日「ネットだからこそ参加できた」との声もあり、北は北海道から南は沖縄まで多くの方がたが心を寄せてくださり協力伝道の拡がり新たな可能性を感じることができました。さらに、後日、ネット録画配信を通して時間・空間を越えて心を寄せてくださっていることは大きな励みとなりました。五感を通しての出会いの大切さを思いつつも、その時できる最善に心を込めていくことができたことは幸いでした。

最後に、本稿を通して改めて白杵教会の「わたしたちに出来るだけのこと」の中身を立ちどまって見ると、「わたしたち」の中には、確かに連合諸教会の皆さまの祈りとあつい協力伝道の思い、そして何より神の守り支えがあったことに気づかされ、その恵みを深く味わい噛みしめてなおすことができました。【永松博(白杵教会)】

PickUP! CONTENTS

- 新任牧師紹介 「小倉春ヶ丘バプテスト教会 千葉仁志」
- 総務財務委員会 「第二次IT整備財政支援」
- 連合新着情報 「第二回協力伝道ミーティング」